

# 北海道の寒冷地で培われた高品質な融雪機器で販路拡大 (株式会社 アサヒ特販)

## 会社概要(平成24年3月現在)

- 所在地:北海道札幌市白石区菊水3条1-3-2
- 代表者:久保 兼司
- 資本金:1,000万円
- 売上高:12億2,000万円
- 従業員数:22名
- URL:<http://www.a-tokuhan.co.jp/>

## ①事業概要

### <寒冷地用電気ヒーター製造・販売>

同社は、昭和48年に設立した融雪機器メーカー。

地元北海道はもとより、東北、北陸、中部地区といった積雪寒冷地へ「安心の冬」を届けるべく、融雪パネル、ルーフヒーター、ロードヒーター等融雪機器を製造、販売を手掛けてきた。

特に、凍結防止や保温に適した自己温度制御型ヒーターである「パラコンヒーター」は、市場で高い評価を得ている。

## ②海外展開概要

### <中国・ロシアへの販路開拓>

長引く不況の下、同社では、かねてより北海道に気候が近いロシア極東地方・中国東北部にも融雪機器に関する需要があると考えていた。

ロシアについては、平成21年にウラジオストク、ハバロフスクで開催した北海道経済産業局主催の「北海道寒冷地住宅セミナー&商談会」に参加し、現地の実情を把握。翌22年にはハバロフスクでの展示会に参加。融雪マット、ロードヒーターが成約。更にジェットロの地域間交流支援事業を活用したロシア極東でのビジネス交流会に参加し、現地プレゼンを行うと共に自社製品をサンプルとして無償で設置するなど積極的なPRを展開中。

中国については、平成22年、列車に設置する凍結防止電気ヒーター線について中国企業が関心を示しているとの情報を取引先から得て、面談、交渉を開始。受注に結びつけた。

## ③取組の重点(活用した支援策を含む)

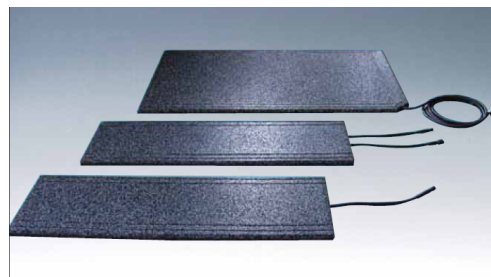
現地商談会・見本市への積極的な参加により人的ネットワークを構築し、販路拡大の足がかりとした。その際には行政等の支援策(北海道経済産業局主催のセミナー&商談会やジェットロの地域間交流支援事業等)を積極的に活用した。

また、海外、特に中国を相手に商談を行う場合には、その場で取引条件等の即断ができる立場の人間が交渉を行うことが重要と考え、同社では社長自らトップセールスを行っている。

## ④今後の事業展開について

ロシア極東地域については、受注に向け引き続き営業活動を実施。

中国については、自社製品の輸出だけに留まらず、商品開発や技術指導など多角的な視野を持って交渉を行い、更に大きな市場参入を目指す。



▲同社の融雪マット



▲パラコンヒーター  
(自己温度制御型ヒーター)

(平成24年10月現在)

データ出所:北海道経済産業局